

平成 30 年度学生サークル地域貢献活動実施報告書

1. サークル名

Passage(ぱさーじゅ)

2. 担当者

電気通信大学ジャグリングサークル Passage 部員 7 名

西川 真帆 (代表)	情報理工学域Ⅱ類 3年
中澤 優伸	大学院情報理工学研究科情報学専攻 2年
小野口 貴仁	情報理工学部知能機械工学科 4年
橋本 理公	情報理工学域Ⅱ類 3年
杉野 恵祐	情報理工学域Ⅲ類 3年
中島 健輔	情報理工学域Ⅰ類 1年
他1名	

3. 活動テーマ

富士見児童館ジャグリングサークル

4. 実施日時

平成 30 年 10 月 3 日、10 日、17 日、24 日
平成 30 年 11 月 7 日、14 日、28 日
平成 30 年 12 月 5 日、12 日
平成 31 年 1 月 9 日、16 日、23 日、26 日(9:30~11:00)、30 日
平成 31 年 2 月 6 日、13 日
各 16:00~17:00 全 16 回

5. 実施場所

調布市立富士見児童館

6. 活動テーマの概要

平成 31 年 2 月 17 日(土)12:45~調布市グリーンホール大ホールにて行われる児童館交流事業「調布市児童館交歓フェア」に出演する小学生に、ジャグリングを教える。

参考：

児童館交歓フェアについての Web サイト(平成 29 年のもの。平成 31 年の Web サイトはありませんでした。)

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1484531581019/index.html>

7. 実施報告

(1) 参加者

富士見児童館の小学生 2年生から6年生まで21人

(2) 実施内容

4種類のジャグリング道具（ボール、ディアボロ、ポイ、フラワースティック）でのパフォーマンスの指導

- ジャグリングの体験
- ジャグリングの技の練習の指導
- 交歓フェアでのジャグリングパフォーマンスの練習の指導

(3) 活動について

10年ほど前から毎年おこなっている活動のため、滞りなく実施することができた。各回は次のように行った。

- 初回：ジャグリングの体験。40人の児童が参加。
- 2回目以降：初回に参加した児童の中から21人が正式なサークルメンバーとして決定した。4種類のジャグリング道具ごとにグループをつくり、その道具の技を習得し、交歓フェアでの発表に向けて練習を行った。
- 14～16回目：交歓フェアでの発表と全く同じ流れの練習を行うようになり、完成度の高いパフォーマンスができるようになった。

複数回参加している児童と初めて参加する児童で技能に差があり、また、小学2年生から6年生までおり体格に差がある中で、ジャグリングを教えることは難しかった。しかしそこで、個人の能力に合わせた指導や発表内容を考えることで、参加者全員が楽しめる活動を行うことができた。

約半年という長い期間この活動を実施することにより、小学生に Passage のメンバーや電気通信大学のことを覚えてもらえているようだ。そのため、富士見児童館の小学生とその保護者が15人ほど、調布祭での Passage のジャグリングパフォーマンスを見に来てくれた。このように、地域貢献活動によって私たちにも嬉しいことがあると、活動をしてよかったなと感じる。今後もこの「富士見児童館ジャグリングサークル」を続けていく予定だ。

以下の写真は、活動のようすである。



【フラワースティックの練習の様子】



【ボールの練習の様子】



【ディアボロの練習の様子】



【ポイの練習の様子】



【練習風景】